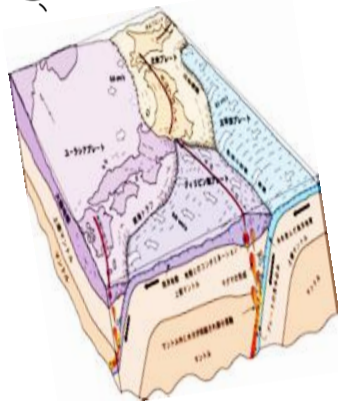


防災だより

日本列島は地震列島!

地球上に10のプレートがあると言われています。そのうち、日本列島は4つのプレート（テラスト）の境界付近に位置しています。関東の地下は北米プレートの下にフィリピンプレート、さらに下に太平洋プレートが落ち込むという複雑な構造をしています。今年になって、日本あちこち地震が発生しています。また地震関連の機関から地震に関する、気がかりな情報が次々と発表されています。



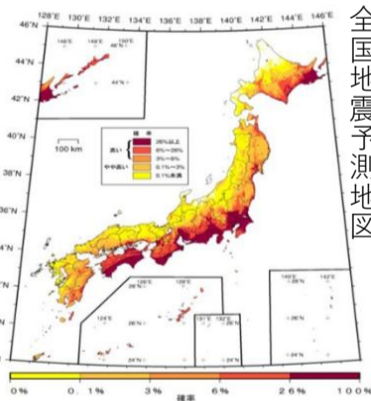
その16月18日大阪府北部を震源とする、最大震度6弱の地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードM6.1を観測した。死者5人、負傷者415人、建物損壊、火災、半壊、損傷などが12,722棟と言った被害をもたらした。さらに電気、水道、ガス、そして交通機関の都市機能がマヒし、関西地方に大きな爪痕を残す被害となった。今後また強い揺れがあるとしている。写真もまた、専門家の中には今回の地震は後述の南海トラフ地震の前兆あると指摘している。



この度の、西日本豪雨で被災された皆様には心からお見舞い申し上げます

その2 横浜は全国どの番目の82%!

政府の地震調査委員会は6月26日、2018年度版で今後30年以内に震度6以上の揺れが起きる確率は、大幅に上昇。南海トラフ地震の発生が近づいていると予想され、関東から四国の太平洋側は微増が続いた。
全国のトップは千葉市の85%
横浜市は17年度版から1ポイント上昇の82%全国どの番目に高い確率となった。



その3 6月7日土木学会が今後30年以内に70% 82%の確率で発生するとしている

南海トラフ地震後の経済被害額を発表しました。その被害額は最悪の場合、20年間で1,240兆円と推計しています。また、「首都圏直下型地震」の経済被害額は20年で731兆円に上るとした。阪神淡路大震災のデータから、経済の影響が20年続くとして、被害額を計算したとしている。一方事前に建物の耐震化。道路の整備などの対策によって南海トラフで500兆円、首都圏直下で24兆円、それぞれ減るとした。今後15年程度で災害を完了させようという提言している。

その4 政府の地震調査会は6月11日、小規模な地震が相次いでいる千葉県東方沖で地下プレートの境界線がゆっく動く

「スロースリップ」と呼ばれる現象が起きていることを発表しました。過去にはこの現象に伴い震度4前後の揺れを観測、地震も起きています。専門家は今後比較的大きな地震の可能性あるとして、注意を呼び掛けています。



【大阪北部地震の被害から学ぶ「備え」(自助)】

被害内容	被害から学ぶ備え
(一)住宅被害全壊—3棟、半壊—201棟 半部損壊—12722棟 火災8件—延焼なし	① 家の耐震チェック ② 耐震化対策 ③ 消火器 火災報知器 感震フーラー等の設置。
(二)プロップ崩と家具転倒による被害者15人、内2人が壁の倒壊により、3人が家具転倒によるもの。	① プロップ崩のチェック ② 家具 電気器具などの転倒防止
(三)一人暮らしの大都市—犠牲者の内2人は、独居の高齢者で地震の翌日以降に見つかった。	① 日頃から向こう3軒両隣 安否確認時の精度アップ
(四)ライフライン災害—電気は比較的早く回復したがガスは供給停止システムにより、安全確認を必要とするため1週間停止を余儀なくされた。	① 飲料水の1週間分の備蓄・ガスボンベの備え ② 自動車等による電源の確保 ③ 停電の中、安否確認、災害の情報収集の為にラジオやモバイル通信機等の備え

防災バス見学会のご案内

防災減災活動の一環として防災体験を兼ねた見学会を下記の要綱で実施します。詳細は、別途回覧にてお知らせ致します。



- ◆実施日:10月4日(木) 8時出発クリエイト前~17時帰宅予定。
- ◆行先:そなエリア東京(生存から72時間生存力をつける防災学習ツアー) Klinbeil横浜工場(工場見学と試飲)
- ◆申し込み9月3日(月)~9月10日自治会館にて申し込みください。(月~土午前中)
- ◆参加費:お一人 1500円(申し込み時に常務委員さんにお支払いください)
- ◆募集人員:18名(先着順。定員になり次第締め切るとさせていただきます。)
- ◆その他:今回のバスツアーは横浜セシモ様にバスを提供していただきました。
- ◆主催者:防災部・防災ボランティアグループ共催
- ◆問い合わせ:防災ボランティアグループ代表 徳岡(782-8309)

防災体験学習 入場無料

今1度お手元の防災備え「あゆみ・安心カード・並びに自治会会員名簿の70ページで点検のうえ、「備え」項を確認してください。